

## は し が き

この『パラグラフ中心の英語基礎演習』*Basic Interactive Reader*は、大学生、短大生をはじめ、多くの英語学習者の皆さんに広く活用していただけるように編集しました。

近年、日本人英語学習者には、実際の英語運用能力の養成が強く求められており、TOEICに代表されるような英語能力試験の受験者数も急増しています。

事実、「TOEICのスコアをあげることを目標にして勉強したい」という意見とともに、「高校までの英語を復習しながら、語彙力や読解力を強化したい」という意見も多く寄せられています。このようなニーズに十分配慮して、本テキストでは多様なトピックを扱った英文に基づき、練習の問題形式には数多くの工夫を加えてあります。

本テキストで扱った英文は、学習者に親しみやすいトピックを扱ったものであり、なじみの少ないと思われる語句には詳しいNotesをつけることで、学習者が気構えることなく取り組めるよう、読解における負担を軽減する配慮がなされています。本テキストを段階的に読み進めていくことにより、様々なパラグラフからなる形式を読み込む力が自然と学べるように構成してあります。

このテキストで学習することにより、「英文を読むことの楽しさ」を味わうことを体感し、同時に「語彙力」や「文構造を把握する力」を向上させ、最終的には自主的な学習が継続できる「総合的英語学習力」が身につけられることを願っております。

本テキストの主な特徴は以下の5点です。

1. 全16Unitの教材選定  
学習者の興味を喚起するトピックを扱った英文。
2. Warm-up  
イラスト・写真を援用し、TOEIC形式に対応。
3. Grammar Focus  
練習問題をこなしながら、文構造や文法項目を整理するセクション。
4. Vocabulary Expansion  
単語を補強し、整理発展させるセクション。
5. 4Unitごとに1回のReview Test  
4Unitごとのテスト（1回分の授業時に対応。Testの形式：Listening, Vocabulary, Grammar, 和訳の4パート構成。既習の内容理解及び定着度の測定）。

本書を刊行するにあたり、このような機会と数々のアドバイスをくださった、清泉女子大学の石田雅近先生のお力添えに、心よりお礼を申し上げます。

また、英文のチェックにご協力をいただいた Ms. Deborah Iwabuchi に厚くお礼を申し上げます。そして、私共編著者の意図を尊重していただき、本書の企画から発刊に至るまで、ご尽力くださった金星堂編集部の嶋田和成さんに心より感謝申し上げます。

2004年1月 編著者

---

# TABLE OF CONTENTS

---

<b>UNIT 1</b>	<b>Success Stories</b> -----	<b>1</b>
	— ベネトン：成功への秘訣	（パラグラフの展開●報告）
<b>UNIT 2</b>	<b>Hot Peppers Cause Problems</b> -----	<b>5</b>
	— 逆恨み！ 被害にあったのは警察官	（パラグラフの展開●時間的順序）
<b>UNIT 3</b>	<b>Korean-style Weddings</b> -----	<b>9</b>
	— 韓国の結婚事情	（パラグラフの展開●手順）
<b>UNIT 4</b>	<b>Your English Is OK</b> -----	<b>14</b>
	— 安藤優子さんの英語上達法	（パラグラフの展開●コラム）
<b>UNIT 5</b>	<b>Food Personalities</b> -----	<b>21</b>
	— 食べ物の好みで性格がわかる？	（パラグラフの展開●事実と実例）
<b>UNIT 6</b>	<b>The Mystery of the Bermuda Triangle</b> -----	<b>25</b>
	— バミューダ三角海域は未だに謎	（パラグラフの展開●報告）
<b>UNIT 7</b>	<b>EQ to Know You Better?</b> -----	<b>29</b>
	— 心の知能指数EQがあなたを変える！	（パラグラフの展開●定義法）
<b>UNIT 8</b>	<b>The Mummy Hunter and Mr. X</b> -----	<b>34</b>
	— ミイラが物語る人生	（パラグラフの展開●報告）
<b>UNIT 9</b>	<b>Men's Talk and Women's Talk in the United States</b> ---	<b>40</b>
	— 男女の会話スタイルの相違	（パラグラフの展開●比較）
<b>UNIT 10</b>	<b>How Can I Get to the Post Office?</b> -----	<b>45</b>
	— 国によってこんなに違う道案内	（パラグラフの展開●列挙）
<b>UNIT 11</b>	<b>Student Learning Teams</b> -----	<b>50</b>
	— チーム学習の効用	（パラグラフの展開●列挙）
<b>UNIT 12</b>	<b>Valentine's Day Has a Rosy History</b> -----	<b>55</b>
	— バレンタイン・デーの由来は様々	（パラグラフの展開●報告）
<b>UNIT 13</b>	<b>What's for Dinner?</b> -----	<b>61</b>
	— 宇宙開発とともに進歩を遂げる食材	（パラグラフの展開●事実と実例）

<b>UNIT 14</b>	<b>What Language Does Body Speak?</b>	-----	<b>65</b>
	— ボディーランゲージ：コミュニケーションにおける重要性		
			パラグラフの展開●報告
<b>UNIT 15</b>	<b>The Greenhouse Effect and the Women of Guatemala</b>		<b>70</b>
	— 室温効果の防止：グアテマラとコネチカット州の協力		
			パラグラフの展開●原因と結果
<b>UNIT 16</b>	<b>About That E-mail You Sent Me...</b>	-----	<b>75</b>
	— Eメールを送るときに気をつけたいこと		
			パラグラフの展開●報告
<b>REVIEW TEST 1</b>	(UNIT 1~UNIT 4)	-----	<b>19</b>
<b>REVIEW TEST 2</b>	(UNIT 5~UNIT 8)	-----	<b>38</b>
<b>REVIEW TEST 3</b>	(UNIT 9~UNIT 12)	-----	<b>59</b>
<b>REVIEW TEST 4</b>	(UNIT 13~UNIT 16)	-----	<b>80</b>

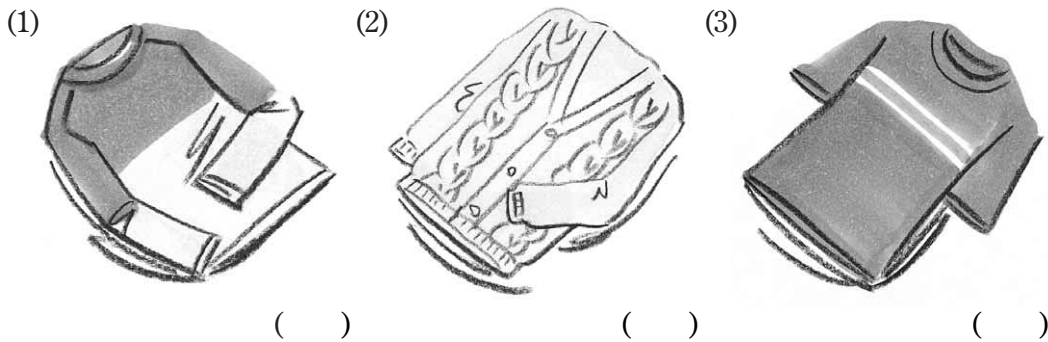
# UNIT 1

## Success Stories

Reporting (報告)

### 1. PRE-READING ACTIVITIES

◀ Warm-Up ▶ 次のイラストに合う英文をそれぞれ選びましょう。



- (a) This item is a warm, long-sleeved shirt, usually with a soft inside layer.  
(b) This item is a light, cotton shirt with short sleeves and no collar.  
(c) This item is a sweater that buttons in front.

◀ Vocabulary Hints ▶ 日本語に合うように、次の語群から適切な語を選びましょう。

responds value demands customers

- (1) To build a successful business, you have to develop products around things people ( ), especially quality.  
ビジネスを成功させるためには、人々が価値を置いているもの、特に品質を考えて、商品を開発しなければならない。
- (2) The Information Link means making sure the company ( ) quickly to people's ( ).  
インフォメーションリンクは、会社が人々の要求に即座に対応しているのを確かめておくことを意味する。
- (3) This means that ( ) can go into any Benetton store in the world and be sure of what they are buying.

これ（どこのベネトンでも同じ商品を取りそろえていること）は、客が世界中のどのベネトンの店にも行くことができ、自分の買おうとするものを確かめられることを意味している。

## 2. IN-READING ACTIVITIES

### ● パラグラフの展開と読解のポイント ● Reporting

事実について報告する形をとるパラグラフを Reporting と言います。ここでは、ベネトン社が成功した企業戦略に関する具体的な方法が報告の形で述べられています。どのような方法によって、成功を遂げたのかを読みとってみましょう。



### ◀ While-Task ▶

**1** One of the most successful fashion companies in the world is Benetton. The Benetton family opened their first shop in Italy in 1968. Today, there are Benetton shops in major cities all over the world. Benetton followed four marketing principles in order to achieve their success.

**2** The first principle is Consumer Concept. To build a successful business, you have to develop products around things people value, especially quality. The founder of Benetton began by asking people what they wanted. He created clothes to match people's wants: the style is casual; the colors and patterns are bold; and the quality is excellent.

**3** The Systems Link is another feature of good marketing. For Benetton, this means waiting to get information about what customers like and what they dislike before making the clothes. In other words, Benetton's clothes are made to order.

**4** The Information Link means making sure the company responds quickly to people's demands. When something is sold at a Benetton store, the store records information about the type, size, and color of the item. This information is then sent to the main office in Italy. Benetton can use this information to identify popular products and to continue making them; it can also identify less popular products

**1**  
ベネトン社の一号店はいつオープンしましたか。

**2**  
ここでは、何が重要であると言われていたか。

**3**  
消費者の意見を聞くのはいつですか。

**4**  
ベネトンで商品を購入すると、店側は何をしますか。

and stop making them.

**5** A final important marketing principle is the Retail Link. There are Benetton stores in countries around the world. All the stores have the same clothing, the same window displays, and the same approach to sales. This means that customers can go into any Benetton store in the world and be sure of what they are buying. The things people like about Benetton stores are that the quality is always high and the prices are generally low. And that spells success.

(275 words, *Hoover's Handbook of World Business*, 1997)

5  
世界中のどのベネトン  
においても共通してい  
るもう一つのことは何  
ですか。


#### Notes \_\_\_\_\_

**Benetton** 「ベネトン」 イタリアのカジュアルウェアのメーカー **principle** 「原則」 **founder** 「創業者」 **bold** 「はっきりした」 **feature** 「特徴」 **in other words** 「言い換えると」 **demands** 「要求」 **identify** 「～であるとわかる」 **popular products** 「人気商品」 **spell** 「～につながる」

◀ **Paragraph Summary** ▶ 次の日本語は本文の各パラグラフの要約です。それぞれに該当するパラグラフの番号をつけましょう。

- ( ) システムリンクの意味
- ( ) リテールリンクの意味
- ( ) 消費者重視のコンセプトの意味
- ( ) インフォメーションリンクの意味
- ( ) ベネトン社成功の秘訣

### 3. POST-READING ACTIVITIES

◀ **Comprehension** ▶ テープを聞いて下線に適切な語句を入れ、文を完成させましょう。また完成した文が本文に合っている場合には T (True) を、異なる場合には F (False) を ( ) の中に書き入れましょう。 

- (1) ( ) The Benetton family opened their first shop in Italy in \_\_\_\_\_.
- (2) ( ) The \_\_\_\_\_ of Benetton began by asking people what they wanted.
- (3) ( ) Benetton's clothes are \_\_\_\_\_ to order.
- (4) ( ) The store records information about \_\_\_\_\_ of the item.
- (5) ( ) \_\_\_\_\_ have the same clothing, the same window displays, and the same approach to sales.

## 4. FINISHING TOUCH

### Grammar Focus 学習ヒント

#### 動名詞

動詞に ing をつけることによって、「～すること」という意味を表します。  
前置詞の後ろに、この形がよくみられます。

例：The founder of Benetton began by asking people what they wanted.

▶ 与えられた語を例にならって適当な形に変え、文を完成させましょう。

- (1) I like (play) the piano. \_\_\_\_\_
- (2) (Travel) is a good way to relax. \_\_\_\_\_
- (3) Thank you for (invite) me to your birthday party. \_\_\_\_\_
- (4) Reading French is easier than (speak) it. \_\_\_\_\_
- (5) She never comes to school without (be) late. \_\_\_\_\_

◀ **Vocabulary Expansion** ▶ 本文中の名詞 success と形容詞 successful のように、名詞に ful をつけて形容詞になるという例があり、その他にもいくつかの形式があります。次の名詞を形容詞に変えてみましょう。

例：名詞	形容詞
success	successful
poison	poisonous
salt	salty
scholar	scholarly

- (1) beauty →
- (2) humor →
- (3) rain →
- (4) week →